

# 沼川の河童

河童は水の神として、古くから日本各地で祀られ、親しまれてきた架空の動物です。しかし、もしかしたらほんとうにいたのかも知れませんヨ……。

ずっと昔、どこにも河童がいた頃の話なんだがな……。

その頃の沼川は、河童にとつてことのほか住みごこちが良かったとみえて、何でも全部で四十九匹も住んでおったそうだ。特に滝川が沼川に合流するあたりは、深い淵で渦巻くほどの水量があつたし、堤にはヤブが茂つてあつて、昼でも暗く近寄る人もなかつた。ま、



昭和五十七年七月五日号

そんなわけで河童はゆうゆうと住んでおった  
ということだ。

ところで、人間にもいろんな性格を持った  
人がいるように、河童の中にもおとなしいヤ  
ツもあれば、そりゃもう、いたずら好きなの  
もいたもんだ。ある時なんざ、よりによつて  
大名が道中してる時の馬の尻尾お尻にからんで、  
水底に引き入れようとしたから、さあ大変だあ  
な。馬は驚いて街道へ駆け出した。河童は馬  
の尻尾をつかんだままブラ下つておつたから  
街道の人間にたちまち捕えられてしまった。  
寄つてたかつてぶたれた上、うまやの柱に一  
晩中しばり付けられ、次の朝になつてやつと  
放されたそうだ。

それ以来、河童は人間の前に姿を見せなく  
なつたということだ。やれやれ……。



現在の沼川